

1月8日 東京都知事選挙予定候補「宇都宮けんじ」氏の推薦を決定しました。



東京自治労連は、第11回中央執行委員会（1月8日）において、1月23日告示、2月9日投票で行われる東京都知事選挙について、「希望のまち東京をつくる会」から立候補表明している「宇都宮けんじ」氏を推薦することを決定しました。

宇都宮けんじの基本政策

- I 世界一働きやすく、暮らしやすい希望のまち東京をつくります。
- II 環境重視、防災・減災重視のまち東京をつくります。
- III 原発再稼働・原発輸出を認めず、原発のない社会と経済を東京からめざします。
- IV 教育現場への押し付けをなくし、いじめのない、子どもたちが生き生きと学べる学校をつくります。
- V 安倍政権の暴走をストップし、憲法を守り、東京からアジアに平和を発信します。

宇都宮けんじの特別政策

<オリンピック制作>

- 環境に配慮したシンプルなオリンピック・パラリンピックを実現する。
- 災害の被災者と原発事故の被害者に受け容れられ、
アジアの平和につながる真の平和の祭典を実現する。

<猪瀬前都知事の問題>

- 猪瀬問題を徹底的に究明し、カネと利権の東京から訣別する。

宇都宮けんじさんプロフィール

- 1946年 愛媛県生まれ
- 1966年 東京大学に現役合格。社会問題と出会い、弁護士を目指す。
- 1968年 在学中に司法試験合格。
- 1969年 司法修習生となる。
- 1971年 弁護士登録。長い“イソ弁”（居候弁護士）生活に入る。
- 1983年 独立。

『宇都宮健児法律事務所』（後に「東京市民法律事務所」と名称変更）を経営。以降、サラ金、ヤミ金による多重債務問題、消費者金融問題の草分け的弁護士として、一貫して、被害者の救済に取り組む。日弁連消費者問題対策委員会委員長、日弁連多重債務対策本部本部長代行、東京弁護士会副会長、年越し派遣村名誉村長などを歴任。2010年～2011年に日弁連会長を務める。

多重債務問題をテーマにしたベストセラー小説「火車」（宮部みゆき著）の弁護士モデル。

著書

『消費者金融 実態と救済』

『13歳から学ぶ日本の貧困 日本をむしばむ“貧困”が60分で見えてくる』

『大丈夫、人生はやり直せる サラ金・ヤミ金・貧困との闘い』

『弁護士、闘う 宇都宮健児の事件帖』など、著書・共編著書多数